

議会だより



議会だより 100号記念

もくじ

12月定例会の報告	2～ 3
一般質問に15人	4～12
9月定例会の委員会意見と当局回答	12
委員会の抱負と課題	13～16
議会だより100号記念特集	17～18
3月定例会のお知らせ・編集後記	18

発行：豊岡市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
〒668-8666
豊岡市中央町2-4
Tel：0796-23-1119
Fax：0796-24-8041
E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp
URL <https://www.city.toyooka.lg.jp>



令和6年度補正予算 全会一致で可決

国の「国民の安心・安全と持続的な成長に
向けた総合経済対策」関連補正予算も

可決した主な議案

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 一般会計補正予算（第6号） 3億6,332万円の増額 | |
| ・市役所本庁舎外照明設備のLED化改修 | 1億1,400万円 |
| ・第2次豊岡市多文化共生推進プランの策定 | 518万円 |
| ・豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略後期プランの策定 | 668万円 |
| ・総合健康ゾーン健康増進施設の改修 | 2億8,998万円 ほか |
| 一般会計補正予算（第7号） 8億8,441万円の増額 | |
| ・住民税非課税世帯への物価高騰生活支援給付金等の支給 | 2億9,140万円 ほか |

市道路線の廃止・認定、財産の無償貸付、指定管理者の指定・指定期間の変更、こども医療費等の助成に関する条例制定、補正予算、人権擁護委員の推せんなどを審議しました。

主な議案の審議状況をお知らせします。



ホームページでも議会の情報をご覧ください。

豊岡市議会

検索

ポチッ

《賛否が分かれた議案》

第134号議案 豊岡市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について

市議会議員の期末手当について、市長等の例によることとされているが、市長等特別職は12月期の期末手当の遡及改定を今年度は行わないことから、市議会議員には人事院勧告に準じた遡及改定を適用するための特例措置を定めるもの。

【反対討論】（要旨）

諸物価が上がり市民生活が厳しい中で、議員の手当引き上げ自体を問う声もある。今回の引き上げ自体に反対するものではないが、せめてこの12月に遡及する分は返上すべきと考え、本案に反対する。

（日本共産党豊岡市会議員団議員）

【賛成討論】（要旨）

全国的に議員のなり手確保等の目的のために、議員報酬の引き上げが必要かどうかの議論もある中で、人事院勧告に準じた期末手当引き上げを一部辞退することについては慎重に議論されるべきであり、今回の条例改正は適切だと考える。よって本案に賛成である。（豊義会議員）



速報
(1月臨時会)

12月定例会に提案された補正予算（第6号）のうち、豊岡市民会館改修基本設計業務の5,900万円は、定例会中の議論を受け当局から削除する訂正の申し出があり、承認していました。（12月12日）

1月30日開催の臨時会にて、基本設計等に先立ち再度老朽度等の調査を実施する長寿命化調査1,500万円を含む補正予算が提案され、可決しました。

一般会計補正予算（第8号）

- ・子育て世帯への生活応援商品券の配布
- ・プレミアム付商品券の発行
- ・豊岡市民会館長寿命化調査

26億4,731万円の増額

1億3,047万円
15億円
1,500万円 ほか



1月臨時会

▼意見・要望▼（予算決算委員会）

プレミアム付商品券については、引換券の発送誤り等がないよう速やかに事業を進めていただきたい。

12月
定例会

議案審議

11月29日～12月25日（27日間）

意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。
賛成は「○」、反対は「×」、議長は採決に加わらないので「／」で表示しています。

会 派 名	豊義会								令和とよおかクラブ				ひかり			日本共産党 豊岡市会議員団			豊岡市議 会公明党		青 松	審 議 結 果	
議 員 名	浅田 徹	荒木慎大 郎	岡本 昭治	小森 弘詞	芹澤 正志	前田 敦司	前野 文孝	森垣 康平	米田 達也	石田 清	清水 寛	田中藤一 郎	福田 嗣久	太田 智博	西田 真	義本みど り	上田 伴子	須山 泰一	村岡 峰男	芦田 竹彦	竹中 理		松井 正志
議 案 名 等																							
第134号議案 豊岡市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	／	可決

12月定例会

※ここに掲載する質問・答弁は、12月9日～12日のものです。
内容については、昨今の社会情勢・対応策等、日々状況が変わってきています。

一般質問に15人

市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、
さまざまな課題について活発な議論を交わしました。

市議会の本会議が
インターネットで
ご覧になれます！

インターネットにより、定例会の様子をライブ中継と録画中継で映像配信しています。
ぜひご覧ください。

豊岡市議会インターネット中継

検索



スマートフォンでも定例会のライブ中継を配信!

石田 清 (5ページ)

- 財政運営の論点
- 総合経済対策に関連した市政の課題

小森 弘詞 (5ページ)

- 新文化会館整備事業

清水 寛 (6ページ)

- 地域課題解決
- 都市機能強化
- 働きがいのある職場づくり

太田 智博 (6ページ)

- 新文化会館整備事業
- 地方創生
- 市内幹線道路における渋滞解消
- 国道426号の拡幅工事

森垣 康平 (7ページ)

- 新文化会館整備
- 小学校環境整備

●新たな財源

前田 敦司 (7ページ)

- 地方創生総合戦略の進捗
- 演劇祭の評価と継続性
- 公共施設の利用促進

竹中 理 (8ページ)

- 新文化会館
- こども計画
- 動物愛護
- エンディングシートの取り組み

米田 達也 (8ページ)

- 雪害倒木緊急対策事業
- (仮称)竹野学園 施設整備
- 医療的ケア児(者)に対応した施設整備
- 豊岡市役所

上田 伴子 (9ページ)

- 不登校対策

●育休退園制度

●こども医療費

●コミュニティセンターのバリ アフリー化

- ジェンダーギャップ解消施策
- JRRの自動券売機

村岡 峰男 (9ページ)

- 市長総括説明
- 農政

須山 泰一 (10ページ)

- 紙の保険証廃止
- 国民健康保険
- 中心市街地以外の活性化
- 高齢者に優しい街

浅田 徹 (10ページ)

- 令和7年度メモリアルイヤーに向けた取り組み
- 若者に選ばれるまちづくりの推進
- 社会教育の推進

●農業の振興

田中 藤一郎 (11ページ)

- 地域活性化対策と施設整備策
- 豊岡市の地方創生と経済政策
- 公共施設マネジメントでの市の財政

義本 みどり (11ページ)

- 放課後児童クラブ
- 子育て支援
- 外国につながる子どもたちの高校進学
- 権利擁護支援

福田 嗣久 (12ページ)

- 消滅可能性の高い地域を守る政策
- 衆議院議員選挙を終えての市政推進





写真下の **二次元バーコード** で
質問の録画映像をご覧くださいませ

■一般質問

子ども医療費助成拡充の財源は

答 制度設計中だが、行財政改革等で確保する

問 こども医療費助成を拡充するためには、行財政改革や行政DXの推進による義務的、固定的経費の圧縮により財源確保が必要であるとのことだが、この行財政改革や行政DXで、どのくらいの財源を生み出すと試算されているのか

答 第4次行財政改革大綱に基づく取り組みによる昨年度の効果額は、8億4632万円で、今年度から開始した第5次行財政改革大綱に基づく取り組みでは、2028年度末には実質単年度収支の均衡や職員数24人削減などを目指しており、その効果は1億8000万円以上と推計している。このような努力をして住民サービス等を充実させていきたい。

議員のひとこと

市長総括説明では「来年度より無料化拡充に向け、現在制度設計を行っている」とのこと。



給食費の保護者負担増の一時停止を求める

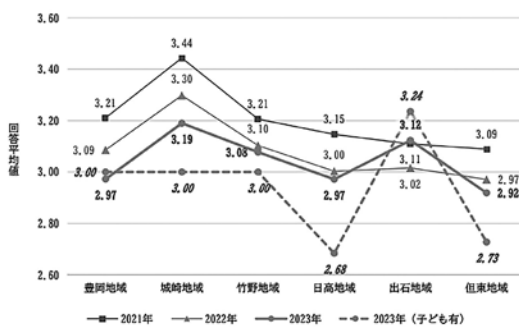
問 国の「総合経済対策」では、重点支援

では、重点支援地方交付金を追加し、その推奨事業の一つとして学校給食の支援が挙げられている。物価高による実質賃金の低迷の折、重点支援地方交付金を使用して給食費の保護者負担の引き上げを一時停止してはどうか

答 学校給食費の保護者負担の引き上げの一時停止も交付金の活用事業の検討項目の一つとして捉えている。

現時点で交付金の詳細が示されていないため、はっきりとしたことは言いえないが、今後十分検討したい。

図8：豊岡市で安心して子育てができると思うか



豊岡市まちづくりアンケートから見える課題



石田 清 議員
令和とよおかクラブ



小森 弘詞 議員
豊義会



なぜ市民会館の長寿命化なのか

答 財政的な将来負担を考えて新築は断念した



大規模改修・長寿命化工事案が示された市民会館

問 なぜ急ぐのか。方針転換が性急過ぎないか

答 現市民会館は最低限の修繕で使っている。点検を重ねながら修繕をしている。現市民会館を2025年度末までもたせる努力をしている。一日でも早く計画を進めて、市民の文化芸術の拠点が

ない状態を一日でも短くするために急いで検討を進めた。

問 現在の試算では40年経過時点で、新築した場合合は総額128億円、長寿命化した場合は127億円で金額差はほとんどない。なぜ将来的に金額の差がないのに、短期的コストだけを特出しにして長寿命化の方向にかじを切るのか

答 人口規模等々を考え、将来千人規模弱の施設が要るのか、どのような住民要望があるのか分からない。短期的なことを我慢して新築の100億円を捻出するということはできない。

問 将来このまちをどういうまちにしたいか、ビジョンの下にこの議論を進めて大きな公共投資の決断をすべきではないか

答 まちの将来は文化会館だけで語るものではない。

議員のひとこと

3年半以上、整備計画は進まなかった。現市民会館の大規模改修・長寿命化への方向転換はあまりに性急ではないか。短期的な財政負担に捉われず、このまちの将来をしっかりと見据え、長期的な視座に立って議論をすべきだ。





清水 寛 議員
令和とよおかクラブ



「主人公は市民」への実感は

答 市政に対する意識の変化を感じた

問 若者会議の開催や自分ごと化会議の意義など波及効果を感じたと聞いたがどうか

答 誰もが豊岡に暮らしてよかったと実感できるまちづくりには、このよう地道な取り組みが重要であると同時に、市民との共創によるまちづくりが広がる可能性を強く感じた。参加者アンケートでは、市政にほとんど関わりない方が大半にもかかわらず、今後、住民同士でまちの課題について議論、意見交換できる場があれば参加したい方が3分の2を占めた。

まちの課題を自分事として捉え、考え、行動する市民を増やす取り組み



自分事が行動の基となる小さな取り組みこそ大切です

地域課題解決

問 秋の市政懇談会廃止の理由は何か

答 春と秋に開催してきたが、多人数かつ広い会場では、まちづくりへの意見や地域課題等について十分な意見交換を行うことが難しかった。

あり方について、各地域の区長協議会、町内会長会からの意見も参考に検討を行い、各地区要望

の回答に時間の大部分を割いていた秋の懇談会は、一定の役割を終えたものと判断し、春のみの年一回開催とした。

課題であった十分な意見交換を実現するため、2024年秋から市民との共創に向けた新たな対話の場として、少人数対話型の出張市長室を開催。さまざまな団体が参加する中で、希望のあった区長会も参加し、有意義に意見交換いただいた。

来年度は市長とふれあいトークも統合して開催したい。

議員のひとこと

丹念に声を拾い上げるだけではなく、今年から共創する事例がどんどん増えることを心から願う。



市民会館の大規模改修案で決定か

答 大規模改修案が当局としての方向性である

問 現市民会館の機能向上（大規模改修）では、解体時に想定外の修繕箇所が見つかるなど、コストが増大する可能性がある。立地場所も決して良いとは言えず、地盤沈下も進み地盤対策としてのコストも増大するリスクがあると思うがどうか

答 竣工から50年以上が経過しており、老朽化が進んでいる。大規模改修で劣化した機能の回復とあわせて、機能面では新築と比べても遜色のない整備を行っていくことから、建築物については大規模改修をすることによるリスクはない。防災面では、浸水被害のリスクはあるが、機械設備を高い位置に設置するなどの対応を行う予定である。



新文化会館整備では議論が必要である

問 新築での全体事業費が100億円と新聞に掲載されているが、一般財源による負担はどれぐらいになるのか

答 公適債を使う形になるが、100億円のうちの一般財源からの支出は56億円を想定している。

問 当局は、現市民会館の機能向上で進めていく

議員のひとこと

現市民会館の機能向上（大規模改修）案について、市民の声を聞くことや、議会と当局との議論が必要である。



太田 智博 議員
ひかり



※公適債：公共施設等適正管理推進事業債の略称



会館整備の方針変更は拙速では

答 議場での意見を受け止め慎重に判断する

問 今回の補正予算第6号の中に現市民会館の改修基本設計費として、5千9百万円計上されているが、補正予算に賛成すると改修への方向性変更し賛成することになると思うが、当局の考えは

答 予算を認めていただければ、大改修への方向性で決定する。

小学校の環境整備
問 市内の小学校・幼稚園では、校庭・園庭の芝生化事業を進めてきている。しかし、事業着手以来15年以上が経過し、芝は劣化しさまざまな問題があると聞いている。今後の方針と課題は

答 芝生化による一定の効果が続いていること



戸牧川河川敷に建つ豊岡市民会館

から、現状のとおり維持する。維持管理に関しては、負担軽減となる方法を検討する。

新たな財源

問 その町の課題をプロジェクトとして寄付を募るガバメントクラウドファンディングは、豊岡市を総合的にPRするシティプロモーションの考え方が必要と考えるがどうか

答 一般ふるさと納税もある程度天井がみえてきた。今後はもう少し一体的になったシティプロモーションも含めてすすめていきたい。

議員のひとこと
SNSをうまく活用して、より効果的なPRに努めていただきたい。



森垣 康平 議員
豊義会



地方創生総合戦略の現状の評価は

答 少子化の問題は危機的な状況と認識している

問 地方創生総合戦略は人口減少を解消するための戦略。本来の目的を果たすことができているのかどうか

答 人口推計の政策目標を7万7000人程度としており、数字的には政策目標をほぼ達成している。一方で、少子化の問題は2040年代半ばくらいに想定人数に昨年度既に到達してしまっており、自然増減は危機的な状況だと認識している。

豊岡演劇祭の評価

問 豊岡演劇祭が9月に実施され、来場者数は昨年度を大きく上回り3万6255人、海外からの参加国も7か国と、過去最大の規模で開催された。アンケート結果を見ても7割以上の方に高評価を用

答 市民に親しまれ、魅力ある演劇祭として市外からの来訪者を増やし、周辺地域への観光や宿泊など、観光消費額の増加、関係交流人口の増加につながるよう、市としても実行委員会と共に取り組んでいきたい。

議員のひとこと
演劇祭がもたらす市民への恩恵を、市民に伝える努力も必要。



公共施設の利用促進

問 公共施設は有効に活用することで市民の生活

答 設置目的や利用状況を考慮し検討したい。

の質を向上させ、社会福祉に重要な役割を果たすと考えている。
オンライン申し込みに改善した点に関して感謝するが、利用区分に空白の時間がある。
見直したほうがいいのでは



多くの来場者で賑わう豊岡演劇祭のナイトマーケット



前田 敦司 議員
豊義会





竹中 理 議員
豊岡市議会公明党



今議会での結論は非常に拙速では

答 建設的な議論が多くあり市として判断したい

問 22年から新文化会館建設に向かっていたが、11月18日の説明で真反対の結論が出され、今議会での基本設計の予算議決を求められた。結論を出すに現会館の改修に向かつてしまふ。議員にとつて非常に重たい決断だ。これまで新文化会館整備にかかった費用は



豊岡の文化施設は但馬の中核施設でもある

答 18年度から現在まで事務費を除き4億1300万円を執行した。

問 なぜ長期的に一番財政負担のかかる改修案を選んだのか

答 もし仮に20年先に建て替えるなければならないときに一般財源になりえるという数字をお見せしているのが現状。20年先

問 調査費の1500万円の内容は

答 コンクリートの一部を取って調査するなど。

出産子育て応援給付金

問 来年度から制度化される。市独自の検討は

答 現時点では独自サービスを追加することは難しいが、もし追加するならおむつ等を考えたい。

動物愛護

問 虹の街区の保護猫活動を紹介した。区の費用で拠出された。市として地域猫について問題意識のある区に補助をしては

答 まず地域の中で優先度が高くコミュニティ全体で取り組む意思決定ができれば最初の試金石になる。その時には議論したい。

エンディングシート

問 終活のための窓口設置の考えは

答 現時点は考えてないが、重要であり地域包括支援センター窓口等での支援体制を整えたい。



米田 達也 議員
豊義会



新校舎建設工事現時点の見通しは

答 今年9月低学年棟利用開始、12月の完了

竹野学園施設整備

問 進捗状況を見ながら、8月中に完成に至らなかった場合、通学に支障があるのではと考える。そうなった場合でも9月に通わせるのか

答 万が一、指摘のような状況になるようなら、その辺りは臨機応変に対応し、入れるようになれば、通学していくというふうな、柔軟な考え方で取り組んでいきたい。

雪害倒木緊急対策事業

問 今年度で2年目の取り組みとなるが、今年度の実施概要、進捗状況は

答 竹野町三原、川南谷、大森、須野谷のエリアを対象に、計207本の立木の伐採。現時点(12月)では伐採の進捗率は約80%



雪害倒木事業、山間地域の皆さまの安心の一助となれば幸いです

問 昨年度の伐採本数は実績として274本伐採した。

答 2月末には、今年度の作業は全て完了する予定。

市役所の雰囲気

問 近年、事あるごとに当局の発言に「予算がない」、「財政が厳しい」と聞く。それを聞く職員のモチベーションの低下、ひいては市民の皆さまがどう思うか懸念する。

答 マイナスに作用する発言は控えるべきだがどうか

問 そうした発言は厳に慎むべきと庁内会議でも周知している。

医療的ケア児(者)へ対応した施設整備

問 通所施設にあわせ、グループホームの開所までのスケジュールは

答 いずれも3月末を予定している。

議員のひとこと

本市にとって大事な一年になります。市民の皆さまのための市政です。





不登校対策取り組みの成果は

答 サポートルームの活用とさらなる拡充

問 不登校は、2023年度、全国で小・中学校で約34万6千人、本市でも178人となっている。どのように捉えているか。サポートルームの利用状況はどうか

答 サポートルームは一日平均6人、多い日は10人近くが利用している。

問 不登校児童生徒の増加は市の教育の大きな課題の一つと捉えている。中学校全校と小学校4校に校内サポートルーム支援員を配置し、教室に入りづらい児童生徒に柔軟に対応できつつある。

答 サポートルームは一日平均6人、多い日は10人近くが利用している。支援員は週20時間、半日勤務なので、もっと増やしてほしいという要望があるが

問 1日4時間ではなく、子どもたちの居場所



こどもたちの居場所 サポートルーム

問 JRの方針として対人による乗車券類等販売は行わない。市が豊岡駅で委託販売をすることはできない。

答 現在、窓口カメラが設置され、混雑状況が確認でき、操作に戸惑っている方や、行列が発生している場合は、駅員によるサポートを行っている。また、オペレーター対応時間の見直しや体制強化で待ち時間が改善した。

駅の切符購入を人の手で

問 乗車券の購入を以前のような窓口での購入にしてほしいという声を聞くが、JRや県との継続課題となっているのか



上田 伴子 議員
日本共産党豊岡市会議員団



クマによる果樹被害は深刻だ

答 不妊など頭数管理はできない

問 クマによる農産物、特に果樹に対する被害が増大している。ブドウ・ナシ生産は棚を張り、木の管理と果実の管理で収穫を得ている。この棚を壊されることで「もうやめたい」という声も聞く。継続の気力をなくすことや生産農家の減少に対する見解は

答 シヤインマスカット生産農家から、200万円以上の被害という報告もある。生産を続けられないという意見もあり、JAや県農業改良普及センター等関係機関と連携して有効な被害防止対策を検討していく。

問 被害防止策としての柿の木を切れという指導がされるが、切れない事情もある。存在する理由もある。切れだけの指導でよいのか

答 柿や栗の木の早期収穫や不用となった柿の木の伐採、またトタン巻や電気柵の設置など段階的な対策をお願いしている。

問 捕獲後の対応として、一度は放獣すると聞くがなぜか。放獣前に去勢など不妊の手だてはできないか

答 捕獲後の対応は、殺



こわされた防護柵と被害を受けたシャインマスカット

議員のひとこと
クマによる人的被害が出ないための施策が必要だ。



処分と放獣に分かれる。集落付近に設置された箱わなとかドラム缶おりで捕獲された場合は、原則その場で殺処分されるが、くくり罠で捕獲されたものは、捕獲許可が出ていないため、同一市内で放獣することになる。今年度は、10月末時点で54頭捕獲し、うち23頭殺処分、31頭を放獣した。野生動物の不妊手だてについて、兵庫県では、クマの数を人為的に制約することは個体群の安定的な維持に支障をきたす可能性があるとして、望ましくないとしている。



村岡 峰男 議員
日本共産党豊岡市会議員団





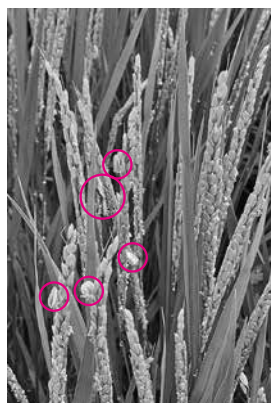
問 今まで頑張ってきたことが活きるように市の力を生かしてほしい。市としても、地域の活性化のために



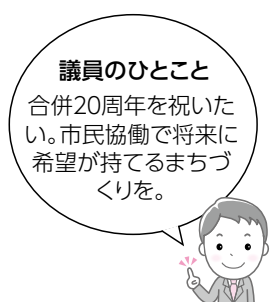
殿さんそば（ホームページより）

答 継続できるような形が一番望ましい。選挙が続くが、投票に行きたくても行けない方の実態の把握はどうか。外出が困難な方や交通手段が無く投票所へ行けないという声があることは承知しているが、調査等によるその実態の把握はしていない。例えば福祉施設入所者や病院に入院中の方については、多くの場合、各施設内で投票することができ、一定

また、一定の条件を満たした方であれば、在宅での郵便投票という方法も利用できる。郵便投票の登録者数は12月4日現在、13人である。



お米に収穫量減と品質低下をもたらす「カメムシ」



議員のひとこと
合併20周年を祝いたい。市民協働で将来に希望が持てるまちづくりを。

問 2025年1月まで施設の利活用に関するサウンディング型市場調査を実施しており、事業アイデアや民営化の条件等について、広く意見や提案をいただき、その後、公募型プロポーザルを実施して民営化の相手先を決定したい。

答 選挙が続くが、投票に行きたくても行けない方の実態の把握はどうか。外出が困難な方や交通手段が無く投票所へ行けないという声があることは承知しているが、調査等によるその実態の把握はしていない。例えば福祉施設入所者や病院に入院中の方については、多くの場合、各施設内で投票することができ、一定

問 コウノトリ無農薬米のカメムシ対策、暑さに強くおいしいお米の品質改良、万博への食材提供の準備・検討が必要では

答 カメムシの防除は、無農薬栽培では大変大きな問題だ。市としても、関係機関・生産者と一体となって検討を進めたい。コシヒカリ代替品種の開発が、令和13年を目途に進行中。それまでの間のつなぎ品種の検討は、JA普及センターの考え方もあり、市でどこまでできるかは疑問がある。現在、万博への食材提供は計画していないが、万博会場では、コウノトリ野生復帰とそれを支える育む農法の情報発信を行う。また、市内では、フィールドパビリオンの国内外の参加者に対して、コウノトリ米など、豊岡の安全・安心な農産物のPR販売を行う。

問 計画期間5か年の年次推進指標はあるか。コロナや少子高齢化・廃校などで疲弊した地域コミュニティを動かすことが急務では

答 指標が必要との議論が出れば、その時に考える。始まったばかりで、できることから一つずつやっていきたい。

「殿さんそば」の今後は



須山 泰一 議員
日本共産党豊岡市会議員団



万博を契機に育む農法の加速を

共生と環境・経済の好循環のまちを発信する



浅田 徹 議員
豊義会





写真下の **二次元バーコード** で
質問の録画映像をご覧くださいませ

■一般質問

事業費100億の財政への影響は

答 さらに収支不足となり事業の先送りになる

問 今回示された新文化会館整備事業見直しは未来の市民への責任においてベストな判断だと考える。当初の計画予算の約2倍となる100億円の未来の市民に対する影響と責任は

議員の
ひとこと
財政の観点から
みても無謀な財
政出動は避け
るべき。



未来の市民のためにも市民会館を再利用しよう！

問 2033年までの10年間で年間6・4億円収支不足となり、100億円となるとさらに収支不足が拡大するため、市としては現市民会館の大規模改修を図りたい。

新文化会館、100億円という数字での全体の影響はどうか

答 収支不足の幅が増える傾向は間違いない。公共施設マネジメントの点から、ほかのやりたいことも先送りといった可能性は十分ある。

問 各小学校の体育館および設置していない教室など、命を守る観点から空調整備は必要と考えるがどうか

答 利用頻度の高い教室

議員の
ひとこと
乙女の湯の復活を一日も早く行っていた
きたい。



から順次整備を進め、体育館への空調整備も具体的に検討している。

出石乙女の湯

問 前市政の際、民間移行されたが残念な結果に終わり、出石地域内での健康増進施設が止まっている。地元としては復活を望んでおり、失敗した責任感を持ってやってもらいたいと思うがどうか

答 そのとおり。反省しなければいけない。過去からの流れも十分理解しており、意見を受け止めて、条件がそろってからの一歩とする。



田中藤一郎 議員
令和とよおかクラブ



外国につながる子ども高校進学は

答 自己実現にむけ高校を選択できることは大切

問 但馬地域（第5学区）は枠校が設置されていないがどのように考えるか



使ったオムツでいっぱいのごみ袋は重たくて、たいへんだよね～

答 特別枠のある県南部の高校に進学し、家族も引越したり、進学を諦め帰国したケースもある。県が方針決定するが、日本語教育や母語での学習支援も受けられ、自らの人生を切り開く力を育てることができる高校があることが望ましい。

問 子ども・子育て会議で、委員より「出産祝いにゴミ袋をプレゼントしては」という意見が出た。会議の事務局が担当課に相談したところ、ごみ処理手数料の免除にあたり、条例の関係でできないと難色を示したと聞く。な

議員のひとこと
赤ちゃんが生まれれば当然紙おむつが必要で、ごみは増える。考え方が時代に合っていない！



問 放課後児童クラブで子どもや保護者の対応で苦慮することがあると聞く。上手に子ども・保護者を対応している学校に

答 市民から相談があった際は、多職種で行う個別地域ケア会議で意見交換をした上で判断している。高齢者と障害者で対応が異なり今後は整合性を図る。後見人の受け手も飽和状態になっている。

問 校長会の要望の一番が小学校体育館のエアコン設置だと聞いた。児童クラブにとっても必要だと思うがどうか

答 子どもたちが狭い空間で長時間過ごしている実態があり、整備できれば、そこも改善できる。

問 親族に代わり自治体が成年後見の申し立てをする市長申し立ての本市の現状と課題は

答 市民から相談があった際は、多職種で行う個別地域ケア会議で意見交換をした上で判断している。高齢者と障害者で対応が異なり今後は整合性を図る。後見人の受け手も飽和状態になっている。



義本みどり 議員
ひかり



※枠校：日本語指導が必要な帰国生徒、外国人生徒の高校進学時の特別枠選抜



問 都市計画区域指定の見直しと緑化義務付けの規定をどう考えるか

答 区域の見直しの考えはない。緑化の義務付けは継承する必要がある。

問 通学補助制度拡充とノーマイカーデーを増やしてはどうか

答 利用実績や傾向を深掘りして検証する。ノーマイカーデーは月2回で充足できていると判断している。

問 但東健康福祉センターの利用促進策はどうか

答 エアコン修理は壊す前提で放置されているのか

答 修理は設計、施工で5か月必要。急場しのぎを行った。利用策についてはシェアハウス、演劇練習スペース、シェアオフィスなど、たんと来会議で取りまとめがさ

問 たんたん温泉の地域振興支援策はどうか

答 地域活性化の拠点として重要と認識。温泉を活用した地域活性化策計画の際には必要な支援を検討する。

問 あと20年経てば消滅可能性どこか消滅する

答 この5年10年で何を

問 但東だけでなく、そのようなところに今の時点で手を入れないと、と強く感じている。

問 合併特例債が満遍なく均衡ある地域づくりのため使われてきたとは思えない。疲弊した地域をどう盛り上げるかを集中的に考えるべきだと思いがどうか

国勢調査結果に基づく旧市町単位の人口推移 (単位: 人)

地域	2005年		2010年		2015年		2020年	
	うち子供	うち子供	うち子供	うち子供	うち子供	うち子供	うち子供	
豊岡	45,997	7,014	44,598	6,531	43,375	5,855	41,827	5,396
城崎	3,973	490	3,778	411	3,519	362	3,125	302
竹野	5,444	740	4,973	583	4,496	429	4,115	356
日高	17,697	2,484	17,242	2,402	16,609	2,261	15,517	2,005
出石	10,824	1,596	10,259	1,457	9,996	1,306	9,160	1,091
但馬	5,273	642	4,742	509	4,255	407	3,745	332
全市	89,208	12,966	85,592	11,893	82,250	10,620	77,489	9,482

※子供の年齢は0歳～14歳

今年の国勢調査はもっと厳しい結果に

議員のひとこと
合併特例債を原資に地域振興基金に現在でも28億円積まれている。消滅可能性の高い地域へモデル的に5年間でも充当してみてもどうかと思うが。



答 その通りだと思う。市民の生活が一番大切。比重を強めて考えたい。

消滅可能性の高い地域をどう守る

スクラップ・アンド・ビルドが非常に重要



福田 嗣久 議員
令和とよおかクラブ



このページは質問者の責任において作成したものです。

その後どうなった?!



9月定例会の委員会審査における委員会意見と回答

📍 コウノトリ但馬空港利用促進

補助金については、他市町とのバランスを考慮し、今まで通り搭乗率の向上を目指していただきたい。しかしながら、一人当たりの利用回数など、市民にとって不公平感のないように制度設計にも留意していただきたい。

(予算決算委員会)



但馬空港推進協議会担当国会議において議論を始めているところである。

今後引き続き、担当国会議および担当課長国会議等において関係市町と協議、検討を行っていく。

(都市整備課)

📍 水道事業会計決算

特に有収率の低い地域への対策を図り、有収率の向上に努められたい。

(建設経済委員会)



漏水が発見・確認された際、迅速に対応し、また、老朽管更新事業では、漏水事故の多い路線を中心に管路の更新工事を行い、漏水の縮減および拡大防止に努めて有収率向上に取り組んでいる。

さらに、本年度は人工衛星による漏水調査を実施中である。これは地表面に出ない漏水の発見が可能な調査であるため、この結果を基に、当該地域を重点的に、二次調査および修繕を行う予定としている。

(水道課)

委員会の抱負と課題

● 総務委員会 ●

地域の心豊かなつながりを支えるために



委員長 村岡 峰 男

当委員会は、市長公室、行政管理部、危機管理部、総務部など、市民の暮らしと関わりの少ない部門と、くらし創造部、市民部税務課、消防本部など、市民のくらしに直接関わる部門を担当しています。

今期議会が、大いに若返った中で、当委員会はなぜか落ち着いた

あることから、当委員会の任務は広範であり、議会の心臓部的な委員会であると自覚して、委員会運営に当たりたいと考えています。議員任期4年の最終年度、総務委員会の重点調査事項9項目を見据えながら、活発な議論で課題の前進を図りたいものです。

年齢構成となっています。さらに、ジェンダーギャップ対策を所管していますが、男性だけの委員会でもあります。全国に先駆けて、ジェンダーギャップ対策を行政として取り上げた豊岡市です。市全体での成果を検証し、人口減少対策の上でも成果が生まれていることが実感できる施策の展開を確認することも重要な委員会の課題だと思っています。

また、地域コミュニティ活動を推進することが、地域活性化の重要な要素であり課題で



豊岡みらいチャレンジ塾2024の第5回最終セミナー

● 文教民生委員会 ●

安心して暮らし続けられるまちを目指して



委員長 清水 寛

当委員会は、市民の暮らしに身近な健康福祉や医療、子育てや学校、社会教育、ごみや生活環境、文化芸術やスポーツなどを担当する部門を所管しています。

近年の物価高騰や高齢化、人口減少を背景に、医療サービスの減少や介護需要の高まりなど新たな課題も表面化しています。

暮らしを着実に支えるため、学校の統廃合や施設の改廃、带状疱疹予防接種補助、こども医療費助成など多様な取り組みが進められています。

昨年の12月議会では、新たな方向性が示された新文化会館関連の予算が取り下げられ、改めて1月末の臨時会で上程。議会全体で市の将来を見すえた活発な議論をすすめています。

今期の委員はフレッシュな構成になりました。市民福祉



明るい未来のために（WACCU TOYOOKA内 こども広場にて）

委員会の抱負と課題

建設経済委員会

地域資源の有効活用ができるまちへ

委員長 米田 達也



当委員会は、商工業、観光業、農林水産業などの産業振興や、空き家対策、公営住宅、有害鳥獣対策から上下水道事業まで、幅広い分野を所管しています。

とりわけ豊岡市では、①若者が移住・定住しやすい環境づくり、賃金の引き上げ、人手不足の解消等の職場環境の整備 ②地方創生施策や地場産業の振興・成長を図る施策 ③農林水産業への支援の円滑化などを引き続き進めていかねばなりません。これらの事項について、それぞれの現状を把握し、行政と議会が協働し、常に市民目線で見据え、未来に向けた市独自の施策を打ち出し、いけるよう、委員会としてその役割を果たしてまいります。

本市は観光資源に恵まれたまちです。さらなる集客増、交流人口

の増加につながるような施策を打ち出すことで、ひいては本市の産業界はじめ、地場産業の活性化を図り、地域の資源をもっと有効活用していくような施策を考えていきます。



子どもたちが描いたカバンを形にする「夢のかばんプロジェクト」

予算決算委員会

予算決算委員会のチェック機能を発揮

委員長 岡本 昭治



当委員会の役割は、予算審査と決算審査を同一委員が行うことにより、総合的・一体的な審査を行い、議会のチェック機能の強化を図ることです。審査は総務分科会、文教民生分科会、建設経済分科会の3分科会で行い、分科会での審査内容をもとに、全体会で審査を行うことで機能を発揮しています。

このような状況のなか、予算決算委員会の役割を果たすべく、慎重に審査を進めたいと考えます。

令和5年度豊岡市一般会計決算では、経常収支比率93・8%と前年度から0・7ポイント悪化しています。

また、実質公債費比率は、14・1%と前年度と比較し0・2ポイントの改善となり、地方債発行の許可団体を判断する基準の18%を下回っていますが、依然として高い水準です。将来負担比率についても、27・2%と17・5ポイント改善し、いずれも早期健

2024年度 一般会計補正予算（第7号）の概要

『国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策』
2024年11月22日閣議決定、2024年12月17日国補正予算成立

1 地方創生臨時交付金事業（物価高騰対応重点支援交付金）	291,402千円
【低所得世帯支援枠】	
○ 住民税非課税世帯への物価高騰生活支援給付金等の支給	
社会福祉課	
エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける低所得世帯に対し、生活支援給付金等を支給する。	
1 住民税非課税世帯物価高騰生活支援給付金	
・対象者：世帯全員が2024年度分の住民税均等割が非課税である世帯	
・給付額：1世帯当たり3万円	
・支給見込件数：8,500世帯	
2 住民税非課税世帯子育て支援給付金	
・対象者：上記世帯の18歳以下の児童	
・給付額：児童1人当たり2万円	
・支給見込件数：1,000人	
＜財源内訳＞	291,402千円
国庫支出金	
（地方創生臨時交付金・物価高騰対応重点支援（低所得世帯支援枠）	10/10
2 国の総合経済対策事業	192,574千円
○ 保育士等の処遇改善	

限られた財源の中、慎重に審査を進めていきます

委員会の抱負と課題

● 議会広報広聴特別委員会 ●

身近に感じていただける広報広聴 活動の推進



委員長 前田 敦 司

当委員会は、その名称のとおり「広報」と「広聴」の2つの役割を担っています。

広報活動では、3か月に1度の頻度で開催される市議会定例会の審議

内容や、各議員の一般質問、団体の方々からの意見・要望とその取り扱いなどを、市民の皆さまに分かりやすく伝えるための編集作業を行っています。

一方、広聴活動では、市民団体の方々にお話を伺う機会を設け、その活動を紹介するとともに、議会に対する期待やご意見をお聞きし「議会だより」に掲載しています。

今期の委員は歴代の委員長経験者も多く「議会だより」は、今回で100号を迎えます。

前期に視察に伺った先進地のアイデアも参考にしながら委員会で協議し、今後も、より親しみやすく、手に取っていただきたくなるような広報を目指し、市民の皆さんの声を的確に反映するため、広聴



議会日より校正時の議論の様子

の手法も工夫を重ねてまいりたいと考えています。

今後とも温かいご支援と、より良くなるためのご意見をよろしく願います。

● 交通網問題対策等調査特別委員会 ●

地域活力の維持と日常生活の 移動手段確保を



委員長 石田 清

当委員会は、市の基幹交通網の整備をはじめ、市民生活の利便性等を高めるため、公共交通機関の諸課題について調査を行っています。

重点調査事項は、①高規格道路(北近畿豊岡自動車道と山陰近畿自動車道)の事業推進 ②但馬空港の

利用促進と東京直行便の実現 ③路線バス等公共交通の充実と利用促進、そして、スクールバスに関する事項 ④鉄道交通の維持・存続と利用促進 ⑤自動運転技術、自家用有償旅客運送等新たな交通サービスに関する事項の五つです。

自動運転については、一昨年4月の道路交通法の改正により、一定の条件下でシステムにすべての操作をさせるレベル4の運転が解禁され、社会実装が進められているため新たに加えられました。深刻なドライバー不足の解消に資する技術です。

地域交通網の維持、充実は、産業等の発展はもとより、人口減少や高齢化への対策の一環で



竹野地域交通再編に向けた準備会の様子

もあります。地域の活力を維持し、買い物、医療機関への通院や通勤、通学等の日常生活の移動手段をどのように確保していくかの視点で取り組みます。

委員会の抱負と課題

● 防災対策調査特別委員会 ●

より災害に強いまちへ



委員長 小森 弘 詞

今年、北但大震災から100年、阪神淡路大震災から30年の節目を迎え、未曾有の大災害を想起し、市民の皆さまも、防災意識を新たにされる機会も多いことと思います。地震をはじめ、多くの自然災害は、私たちの日常を一瞬にして壊してしまいます。科学技術がいくら進歩しても、発災自体を止めることは困難であり、常に防災意識を持ち、備えておくことが重要です。

当委員会は、市民の生命と財産を災害から守るために、さまざまな対策について調査・検討を行う特別委員会です。昨年発生した能登半島地震に起因した津波警報発表時の対応など、すでに多くの検討を行っております。

地震のみならず、風水害、雪害、大規模火災など多種多様な災害

今年、北但大震災から100年、阪神淡路大震災から30年の節目を迎え、未曾有の大災害を想起し、市民の皆さまも、防災意識を新たにされる機会も多いことと思います。地震をはじめ、多くの自然災害は、私たちの日常を一瞬にして壊してしまいます。科学技術がいくら進歩しても、発災自体を止めることは困難であり、常に防災意識を持ち、備えておくことが重要です。

当委員会は、市民の生命と財産を災害から守るために、さまざまな対策について調査・検討を行う特別委員会です。昨年発生した能登半島地震に起因した津波警報発表時の対応など、すでに多くの検討を行っております。

地震のみならず、風水害、雪害、大規模火災など多種多様な災害



コミュニティ五荘が実施した避難所運営研修

● 議会運営委員会 ●

市民の声を反映し開かれた議会を目指します



委員長 浅田 徹

当委員会は、年4回開催される定例会の前には必ず委員会を開催しています。議会をスムーズに運営するため、定例会の日程や本会議の進 hands、議会に関するルールなど、議会運営全般についての協議や意見調整を行うなど、まさに議会の要となる委員会です。

委員会は、正・副委員長、各常任委員長（総務・文教民生・建設経済）および各会派の代表による合計8名で構成し、正・副議長がオブザーバーとして参加します。

あわせて、議会改革を鋭意推進しています。昨年は議員定数の検討を行い、今年10月に執行予定の市議会議員選挙から、議員定数を2名減の22名に決定しました。また、継続審議として、議会BCP（業務継続計画）の策定、常任委員会の情報公開のあり方および予算決算委員会の見直しについて、今後、審議を進めてより良い方向を見いだしたいと考えています。



議会の要として議会運営について議論する委員

旧豊岡南高校体育館での仮議場
(2005(平成17)年4月から同年9月)



とよおかし 議会だより 100号記念

豊岡市議会 議場の歩み

豊岡市は20年前に1市5町が合併し、現在までに3か所の議場を使用しています。

旧1市5町の議員95名が議論できる場所として選ばれたのは旧県立豊岡南高校の体育館でした。
※当時のエピソードを18ページにてご紹介していますので、あわせてご覧ください。

旧庁舎議場にて新体制の議会(2005(平成17)年11月から2010(平成22)年12月)



議員定数30名になり、旧庁舎の議場（現在の稽古堂3階）にて議会を開催。この議場とのお別れセレモニーでは市歌を斉唱しました。



庁舎建て替えに伴う市民プラザでの仮議場(2011(平成23)年3月から2013(平成25)年6月)



新庁舎建設に伴いアイティ7階豊岡市民プラザほっとステージで議会を開催しました。

照明にコウノトリの巣を模した現在の議場(2013(平成25)年9月から)



新庁舎が完成し、現在の議場（稽古堂2階）に移りました。インターネットによりライブ中継と録画中継で映像配信しています。※中継については、4ページをご参照ください。



20年の議論の場をふりかえって ～豊岡市合併から現在まで～

2005年、1市5町が合併し、現在の豊岡市が誕生しました。合併後の議場の歩みと当時のエピソードを在籍した議員がご紹介します。

その後、初選挙を経て新たな議員が選出されました。多くの議論の中でも特に記憶に残るのは、新庁舎建て替え時の「稽古堂」を巡る議論です。この歴史的建物は、1925

旧市町の現職議員95名が一堂に会し、白熱した議論が繰り広げられました。夏場の体育館はエアコンもなく、氷柱をたらいに入れて暑さ対策をしました。夏場の体育館はエアコンもなく、氷柱をたらいに入れて暑さ対策をしました。夏場の体育館はエアコンもなく、氷柱をたらいに入れて暑さ対策をしました。

合併直後の最初の議会は、廃校となっていた旧豊岡南高校の体育館を臨時の議場として開会しました。



現在の議場では、以前はハイプ椅子だった傍聴席を快適な椅子に変更し、市民目線での配慮を重視した設計となっています。照明はコウノトリの巣をイメージしたデザインで、豊岡市らしい温かみを感じられます。

年の北但大震災の復興を象徴する建築物です。移築保存案が採択され、約25m南に移動して改修されることとなりました。鉄筋コンクリートの建物を動かす技術には多くの驚きがありました。

ぜひ、一般質問の傍聴にお越しいただき、議論の内容はもちろん、市民を大切にしたい。議場の設計にもご注目ください。

3月定例会の日程(予定)

開 会	2月28日(金) 9時30分～
一般質問	3月10日(月)～13日(木) 9時30分～
常任委員会審査 (総務・文教民生・建設経済)	3月17日(月)・18日(火) 9時30分～
常任委員会審査 (予算決算)	3月13日(木)※1、25日(火)※2
特別委員会審査	3月25日(火) 9時30分～
閉 会	3月27日(木) 9時30分～

※1 一般質問終了後に開催 ※2 13時～
・本会議は市の議場で開催します。

【傍聴について】

一時保育(無料)もありますので、一時保育利用希望者は1週間前までにお申し込みください。また、豊岡市議会インターネット中継によりパソコン、スマートフォンから審議の様子を生中継でご覧いただけます。

■問合せ／豊岡市議会事務局

☎ 0796-23-1119

議会広報広聴特別委員会

委員長	前田 敦司
副委員長	芦田 竹彦
委員	太田 智博
委員	岡本 昭治
委員	清水 寛
委員	前野 文孝
委員	村岡 峰男

▼今年の干支は乙巳であり、知恵・再生・変化を象徴すると言われ、蛇は冬眠する生き物であり、その姿から「生まれ変わり」「新たなスタート」を連想させます。新豊岡市が誕生し20年という節目の年であります。さまざまな取り組みが市民の皆さまにとって良い一年となりますように。

▼議会だよりの編集に初めて携わることにしました。市民の皆さまに興味をもっていただける情報を発信していきます。市民の皆さまからのご意見をお待ちしています。(おた ともひろ)

▼記念すべき100号を迎えました。合併して20年の激動の豊岡市の歴史の中で、議会はさまざまな市政の課題に向き合い、議論してまいりました。議会も定数削減など自己改革にも努め、その様子をご紹介しますながら今号を迎えました。

▼これまでの諸先輩方のご努力により、紙面の改善を重ねてきましたが、さらに研鑽を重ね、わかりやすい広報誌としていきたいと思っています。

▼この記念的な号の編集に関われたことに感謝の心で一杯です。(まえの ふみたか)